

# 受賞企業の横顔

△3▽

「いかの墨」や「よね蔵」などの居酒屋を県内と首都圏に18店舗展開している。佐渡の鮮魚、村上牛、小千谷のへぎそばといった名物にこだわり、地酒をそろえて本県食文化の発信に一役買う。

グループは、兄の中島敬二氏(58)、妹の山田美江子氏(56)がそれぞれ社長を務める運営会社の「いかの墨」と「よね蔵」で構成。グループ名は祖父の名前の米蔵(よねくら)にちなむ。

ルーツは両氏の母親が燕市分水地区で営んでいた日本料理店だ。1998年に和洋中の創作料理の店として開業した「よね蔵吉田店」を皮切りに、県央地区で店舗展開。2003年にはJR新潟駅南口に「葱ぼうず」を構えた。この時、地域の食材を生かした和の雰囲気づくりに

(燕市)

## よね蔵グループ

<概要>本社所在地 燕市大武新田▽売上高 41億5000万円 (2023年度合計) ▽従業員約830人

よね蔵グループがJR新潟駅前に構える居酒屋「えびす鯛(だい)」―新潟市中央区



### 中島敬二社長の話

域と協力し、さらに人を呼び込みたい。  
人手不足の時代となり、居酒屋も若い働き手から選んでもらうことを意識しなければいけない。飲食業界に希望を持てるような経営のモデルを実践して示すなど、新たな取り組みの必要性を感じている。

新型ウイルス禍で居酒屋が打撃を受け、経営の多角化を迫られた。運営する道の駅は国上山のそばに位置し、魅力的なエリアだ。地

かじを切り、男性ビジネス客から人気を集め、知名度を上げた。

新潟市を中心に「いかの墨」「海老の髭」などの出店を重ね、おもてなしを強く意識した「和みの空間」として県外からの出張客にも好評だった。

かじを切り、男性ビジネス客から人気を集め、知名度を上げた。中島氏は「首都圏で新潟の料理は勝負できる」と確信。16年の新宿駅南口店を足がかりに、首都圏での浸透を図った。

ところが20年以降の新型ウイルス禍で居酒屋事業は打撃を受けた。経営の安定に

向けて、事業の多角化に踏み切る。ベーカリー事業に進出し、燕市分水地区に「パン日和」のらの休日」を出店。新潟市ではフランチャイズの食肉専門店を開き、自慢の肉を生かした「焼き肉割烹よねくら」をオープンした。

県境を越えた往来が細る中、弥彦と寺泊の間での活発な人の流れに注目。その間に位置する分水地区の「道の駅国上」の指定管理者に名乗りを上げ、経営資源を投入した。

22年春に道の駅の管理・運営を始め、「自然と遊ぶ」をコンセプトに、バーベキューやダイカンプの施設を整備。売店の売り場面積を広げ、取扱品を拡充するなどして来場者の大幅増につなげた。本業の居酒屋は昨春以降、客足が回復した。首都圏では、本県ならではの山菜の評価が高く、県内で消費されていた枝豆などの野菜を持ち込んで手応えをつかんだ。グループ全体で県内約30蔵の地酒を扱う豊富なラインアップも大きな武器だ。生産者や作り手の結びつきを大切にし、食の魅力を発信することで地域の活性化につなげたいと考えた。

## 本県食文化発信担う

### 経営多角化 道の駅運営

22年春に道の駅の管理・運営を始め、「自然と遊ぶ」をコンセプトに、バーベキューやダイカンプの施設を整備。売店の売り場面積を広げ、取扱品を拡充するなどして来場者の大幅増につなげた。本業の居酒屋は昨春以降、客足が回復した。首都圏では、本県ならではの山菜の評価が高く、県内で消費されていた枝豆などの野菜を持ち込んで手応えをつかんだ。グループ全体で県内約30蔵の地酒を扱う豊富なラインアップも大きな武器だ。生産者や作り手の結びつきを大切にし、食の魅力を発信することで地域の活性化につなげたいと考えた。

# 第41回 県経済振興賞

県内経済の発展に貢献した企業、団体を表彰する2024年度の「第41回新潟県経済振興賞」に5社が決まりました。表彰式は6月5日、新潟市中央区の新潟日報メディアシップで行います。受賞企業の業績紹介は、5月21日付から「県内経済」面で連載します。

## 5社に決定 6月5日表彰式

県経済振興賞レリーフ・千野茂氏作

- ◆プラスパッケージジエ三糸市Ⅱ  
全工程を内製化して高品質の印刷技術と短納期を実現し、環境に配慮した新パッケージを開発。国際的な食の安全システムの認証「FSSC22000」も取得している。
- ◆テック長沢Ⅱ柏崎市Ⅱ  
品質、コスト、納期のバランスを追求した高品質なものづくり、人づくりを重視。地域雇用にも貢献しているほか、教育訓練をDX化し、社員の成長を促している。
- ◆よね蔵グループⅡ燕市Ⅱ  
ウイルス禍で多角化にシフトし、食肉小売業、ベーカーリー事業、道の駅運営など他業界に経営資源を活用。地元のお文化の魅力発信と、雇用増に努め、地域活性化に貢献している。
- ◆エステリンクⅡ燕市Ⅱ  
板金用バリ取り機の研磨方法で特許を取得し、国内シェアトップに成長。溶接作業時の微粒子を吸い込む大型空気清浄機を開発するなど、製造現場の環境整備に貢献している。
- ◆マルソーⅡ三条市Ⅱ  
物流を中核に、タクシー、人材派遣、リサイクルなど多角的運営で事業領域を拡大。後継者難や業績不振に悩む企業を傘下に取り込み地域の雇用増と経済活性化に貢献している。

一般財団法人・新潟博覧会記念財団

(新潟日报社、新潟県、新潟市、新潟商工会議所)